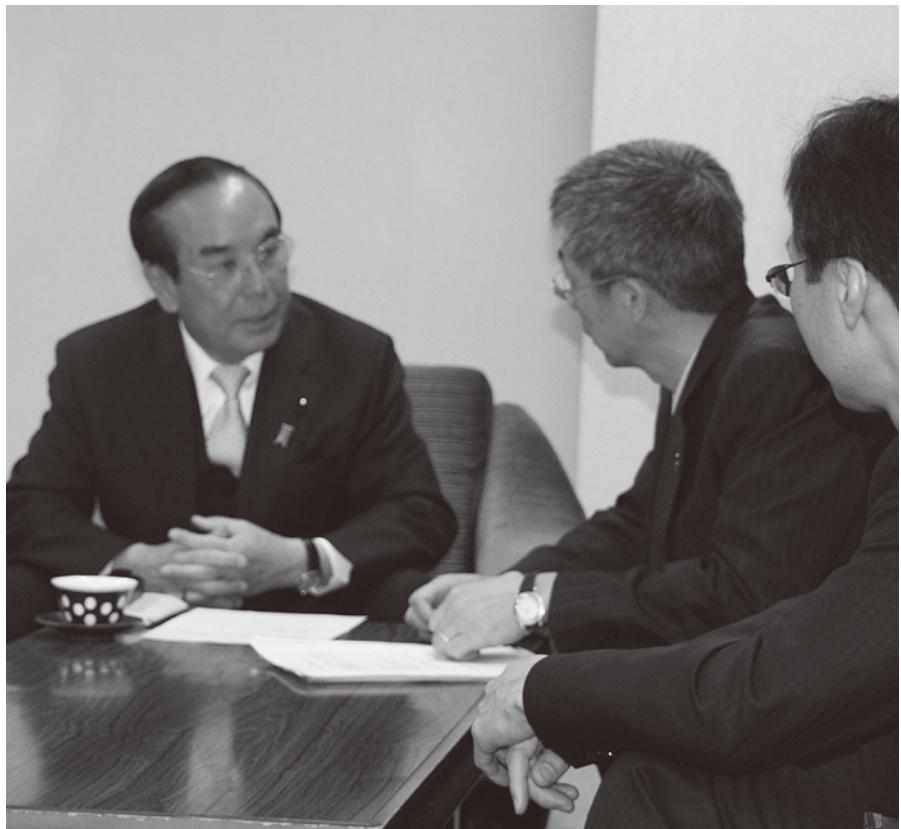


—“ふるさとちば”のための政策推進を◆



防災対策へ向け、脚部県議会へ！



小宮県総務部長らと震災対策を話し合う阿部県議(左)

くなられた方は、旭市の13名をはじめ、野田、賀志野、山武、八千代、柏市の各1名の合計18名に上っています。行方不明者も2名おり、現在千葉県警が確認を急いでいます。

断水は約10万4千戸に及び、浦安市の3万3千戸、
東日本大震災に伴って、阿部県議は浦安市や旭市など被害の著しかった県内各市を視察し、対応策を自民党県連で協議した結果、県連に東日本巨大地震緊急災害対策本部が設置され、県への要望書を取りまとめ、
3月31日、森田知事へ申し入れを行いました。

「大震災の被害対策に関する申し入れ」は、①被災者並びに被災地域対策②農水産業対策③迅速かつ的確な被害取りまとめ等事務手続④知事会の活用等、国に

緊急要事

どか確認され
ています。

対する第一線の実情、一
ズの反映⑤現行「計画停
止の方法の見直しと国民生
や産業に配慮した効率、
果的な実施の要請⑥防災
策の全面的な見直しの6
でした。

具体的には、避難者、
災者に対する支援や被災
の復旧、復興対策、家屋
壊に対するきめ細かい支
液状化に対する対策の創
などが盛り込まれ、農水
業対策としては、災害閑
による収入源の補償、施
の復旧をはじめ、放射線

要望書を提出

検査による風評被害に対応した、きめ細かな情報の提示などを求めました。

また、森田知事は4月15日、こうした県民、県議会からの要望を受け、首相官邸で枝野官房長官に千葉県としての要望書を手渡しました。

要望書は、現行法では救済されない住宅の沈下など液状化被害の復旧補助対策や原発事故に伴う農水産業に対する被害補償などを求めました。

3月11日午後2時46分ごろ、東北地方から千葉県にかけて発生した東日本大震災は、わが国に未曾有の大災害をもたらしました。千葉市稻毛区選出の阿部紘一（あべ・じゅういち）県議は、震災後に県議選を控えていましたが、被災者への支援を最優先に取り組み、多くの死者を出した旭市をはじめ、液状化現象からライフラインに多大な被害が発生した浦安市や千葉市美浜区などを視察し、森田知事ら県幹部職員と震災対策を協議してきました。阿部県議は、県民・市民の安全・安心を第一に、県の地域防災計画を抜本的に見直すよう提案するなど、災害に強いまちづくりを訴えています。県内の最新の情報を伝えします。

戦後最大の自然災害とされる東日本大震災では、県内各地にも大きな爪跡を残しています。地震の規模は、マグニチュード9・0でした
が、県内では震度6弱が成田市と印西市で観測され、震度5強は千葉市花見川区、若葉区。震度5弱は千葉市稲毛区、緑区などで記録されました。

います。半壊も千葉市内で335棟。県内では1778棟に上りました。屋根ガワラが飛ぶなどの一部損壊は1万6千棟近くに達しました。

鎌子市の2千戸、
倉市の2千戸、
戸、旭市
1万8千戸などは復旧した。また水の出が悪くなるなどの被害は、市川市で約14万戸、浦安市では約8千戸を

A black and white photograph showing a man in a light-colored work jacket and dark trousers crouching on a paved surface. He is positioned next to a large, ornate manhole cover that has been partially buried or shifted by ground movement. The ground around the manhole is uneven, cracked, and appears to be settling. Two grey traffic cones are placed near the manhole cover. In the background, there's a curb and some sparse vegetation growing through the cracks in the asphalt.

県内の復興支援で県と協議議

阿部県議は生の情報を迅速に皆様にお届けします

「原創事物」による「限内」の「影音」

福島県の東京電力福島第1原子力発電所で発生した放射能漏れ事故に関連し、県環境部大気保全課は、事故発生から1カ月後の4月14日、千葉県内での大気中の放射線量の測定結果をまとめ、中間結果の形で公表しました。

放射線量の測定や放射能に対する監視については、国が都道府県の協力のもとに、全国的に監視体制を整備していますが、千葉県でも市原市にある県環境研究センターにモニタリングポスト（大気環境の空間放射線

結果を文部科学省に報告しています。その結果によると、大震災直後の3月15日午後5時に、県内での最大値である0・313マイクロシーベルト／時を観測しましたが、その後は低下傾向にあり、県環境部は、この最大値を含め、現在までに健康に影響を与えるレベルではないと説明しています。

福島第1原発の事故以降、放射能に対する県民の不安が募つてきている状況を踏まえ、県は大気中の放射線量の測定結果を公表しています。

県の測定結果や県内で県と同様に測定を行っている財団法人日本分析センター（千葉市）や、独立行政法人放射線医学総合研究所（千葉市）、成田国際空港株式会社（成田市）が実施している測定結果についても閲覧できるようになります。

さらに、国に対しても監視体制の強化を要望しているところです。阿部県議は自民党の県議団を中心的に、今後も大気環境の状況や県民ニーズを踏まえ、監視体制の拡充を要望してまいります。

については、3月23日に県内3カ所（南房総市、木更津市、多古町）のクーラーステーションの原乳を県が検査機関に依頼して放射性物質の検査を行ったところ、いずれも国の暫定規制値を下回る調査結果が公表されています。今後も、放射能モニタリング検査は、状況を見ながら、国や関係機関と協議しながら対応していく方針です。

水産物については、銚子地区のキンメダイやヤリイカ、マサバ、ヒラメ、マイワシなどいずれも放射性物質

た。また、同浄水場の西側施設でも同様の結果でした。一方、3月24日に乳児の飲用基準（1リットル当たり100ベクレル）を超える放射性ヨウ素が検出されたとして、乳児の飲用を控えるよう摂取制限の呼びかけが行われた松戸市内のならば野菊の里浄水場と栗山浄水場でも、4月11日時点の放射線量の測定では、不検出でした。

大気中の放射線量測定結果



電話ボックスが傾き、ポールが倒れた 浦安市の液状化被害状況

と多古町で生産されたホウレン草について、当分の間出荷を控えるよう要請がありました。

子力災害対策本部長から
原子力災害対策特別措置法に基づき、旭市で生産されたホウレン草、チンゲンサツ、セリイ、春菊、サンチュ、セリー及びパセリと、香取市

世界の農水産物への身角料金

県水道の摂取制限解除

県水道局の水道水における放射線量の測定結果について、4月11日に採取した浄水の放射線量は、千葉市内の柏井浄水場の東側施設では、放射性セシウム、放射性ヨウ素とも不検出でした。また、同浄水場の西側施設でも同様の結果でした。

しかし、その後は基準値を超える測定結果は得られず、25日には管内の5浄水場すべてで飲用基準値を下回ったため、船橋や市川市など管内全域の11市に対する児童への摂取制限を解除しています。

県の防災危機管理監ら担当者と話し合う阿部県議

市民の目線で県政改革！

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

〒263-0043
千葉市稻毛区小仲台2-6-8-401
TEL043-287-8595
FAX043-285-2192

阿部 紘一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

HPもご覧下さい。… 検索 ちば自民당 ➔ 議員リスト ➔ 個議会議員 ➔ 千葉市・稻毛区